



2020年8月、大学の新校舎「E1棟」竣工。 9年にわたる「KMP21」がすべて完了。



「安全で使いやすく、質の高い教育環境の整備」をめざし
2011年に策定された金城学院キャンパスマスタープラン(KMP21)。
中学校、高等学校、大学、それぞれで施設の改築が行われ
この秋、最終フェーズとなる大学の新校舎「E1棟」が竣工。
これをもって、KMP21のすべてが完了しました。
そこで、KMP21を振り返るとともに、E1棟の全貌をご紹介します。

KMP21とは

金城学院の“21世紀の教育の実施”を見据えて策定された「金城学院キャンパスマスタープラン(KMP21)」。老朽化が進んでいた教育施設の改築を順次行う計画で、2011年度にKMP21推進委員会を設置。各学校の整備計画を作成し、2012年3月に具体的な建設が始まりました。3つのコンセプトのもと、大学は3つの、高等学校は2つのフェーズに分けて実施。中学校は2016年に恵愛館・信愛館の建て替えに着手し、新たな恵愛館として2017年に竣工しました。2016年には大学の第2フェーズが、2018年には高等学校のすべてのフェーズが終了しました。そして2020年8月、第3フェーズとなる大学のE1棟が完成し、KMP21のすべてが完了しました。

KMP21のコンセプト

- 1 多様な交流を促す
空間の創出
- 2 安全で使い易く、質の高い
教育・研究環境の整備
- 3 自然と共生する
環境配慮型キャンパスの整備

<金城学院大学>

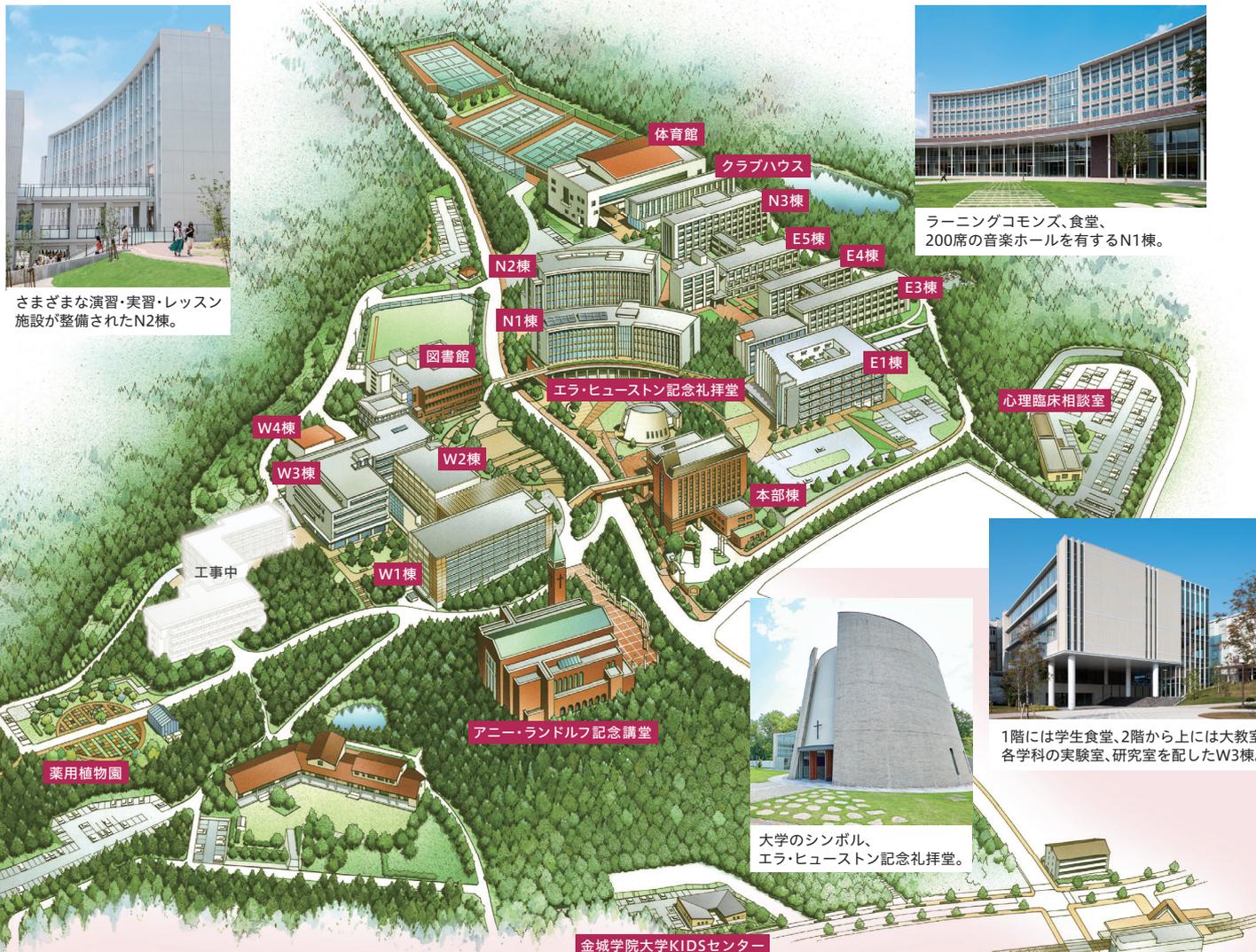
“これから”を生きる女性に、 理想的な学びの環境を

金城学院大学のキャンパス整備は3つのフェーズに分けて実施されました。第1フェーズは2012年度より施工を開始し、学院創立125年にあたる2014年8月、新礼拝堂「エラ・ヒューストン記念礼拝堂」、新校舎N1棟・N2棟の3つの建物およびセンターコート(東側)が完成。各校舎に分散していた講義室や実習室をN1棟、N2棟に集約しました。第2フェーズでは、2014年10月に着工したW3棟が2016年3月に竣工。併せてセンターコートや既存建物が一体となった空間と動線が整備され、森の中のカフェをイメージした学生食堂「LILY WEST」もオープンしました。次いで2017年1月、大学内の西側校地に「ステップガーデン」及び「薬用植物園」を整備。E1・E2号館を解体して第2フェーズを完了させました。最終段階(第3フェーズ)となるE1棟は2019年4月に着工し、2020年8月に竣工。いくつかの校舎の解体作業は残るものの、これをもって

すべてのプランが完了。キャンパス全体が美しく生まれ変わり、学生の多彩な学びに応える施設・設備はもとより、安全・快適な移動空間も確保。学生たちが授業の合間を過ごす“憩い”のスペースもふんだんに設け、豊かで快適なキャンパスライフを実現しています。



W3棟1階には、気の合う仲間と語り合える広々とした学生食堂「LILY WEST」。壁面には、環境デザイン学科の学生によるイラストが施されています。



さまざまな演習・実習・レッスン施設が整備されたN2棟。

ラーニングcommons、食堂、200席の音楽ホールを有するN1棟。

1階には学生食堂、2階から上には大教室や各学科の実験室、研究室を配したW3棟。

大学のシンボル、エラ・ヒューストン記念礼拝堂。

センターコートを中心に、東西キャンパスが一体となった金城学院大学キャンパス ※2020年12月時点

KMP21

<金城学院中学校・高等学校>

6年間の大切な時を過ごす
学び舎を整備充実

中学校では、新たな恵愛館が2017年8月に竣工。併せて友愛館の改修、および講堂の改修が行われ、ほぼ全体におよぶ教育施設の整備が完了しました。高等学校では第1フェーズとして、2014年に大小のアリーナとランチルーム、家庭科実習室、音楽室、特別教室などを配した新校舎「世光館」が完成。第2フェーズでは、2015年に地塩館の建て替えと榮光館の改修を実施。2018年3月にはグラウンドの整備とともに、駐車場・駐輪場等の外構整備も完成し、中学校・高等学校のキャンパス整備計画は無事完了しました。



探究型の学習ができる金城学院中学校「恵愛館」。



金城学院高等学校のシンボル「世光館」。



生徒たちの知的好奇心や探究心を育む金城学院高等学校「地塩館」。

KMP21
2012-2020

学び、出会い、交流する。 金城学院大学の新たな学び舎「E1棟」。



新校舎E1棟は地下1階、地上5階建て。建築面積は約2500平方メートル。「学生本位の施設整備」「未来に発信するシンボルコア」「自然と共生するエコキャンパス」「安全で過ごしやすいキャンパス」の4つを基本方針に設計され、広大で豊かな自然環境を守るための配慮や省エネルギー、CO₂排出量の削減のための工夫が施された建物となっています。着工は2019年4月。2020年8月に竣工を迎え、9月から運用が始まりました。

建物の顔となる西面は「風に揺れるドレープ」をデザインコンセプトに、豊かな自然に囲まれたキャンパスの小高い丘に掲げられた「幕」が風に揺れて美しいドレープを描くイメージを表現。室内に入射する西日をさえぎりつつ、眺望の確保にも配慮したデザインとなっています。

E1棟 1F 2F

1階には階高の大きな大講義室(300席)が4室、2階には180席の中講義室が6室。全ての講義室が吹き抜けを囲うように配置され、四季の風や光を感じられる明るい空間となっています。多くの学生が出入りする1~2階には中央に大階段とエスカレーターを設置して、スムーズな動線を確保。1階ロビーの天井には何枚もの不燃布の膜が暖簾のように垂れ下がり、エントランスから入り込む風に微かに揺れて、訪れる人を優しく迎えてくれます。1階の入口横にはギャラリースペースも設けられ、学生の作品や制作物を展示する情報発信の場に。ギャラリーに隣接するキャンパスショップには、本や雑誌、文具はもちろん、おにぎりやパン、お菓子なども豊富に揃っています。



〈右上〉講義はもちろん、講演会やオリエンテーション、セミナーなど多様な使い方ができる300人収容の大講義室。

〈右下〉N1棟の3階とE1棟をつなぐブリッジ。雨に濡れることなく、バリアフリーでアクセスできます。

KMP21

1階ホール。外観の「風に揺れるドレープ」に呼応してデザインされた天井が、強さと優しさを兼ね備えた女性らしさを表現しています。



学生が使える自由な発表の場、ギャラリー(1F)



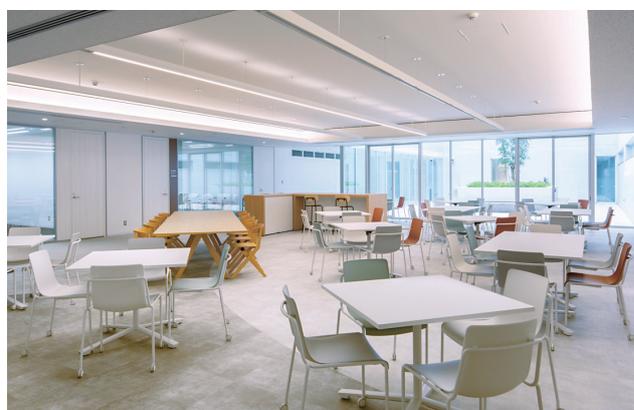
充実した品揃えのキャンパスショップ(1F)



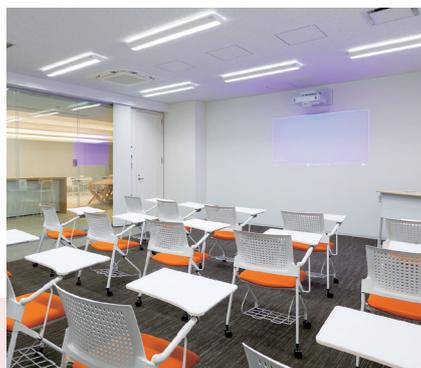
E1棟 3F 4F 5F

3～5階には国際情報学部と人間科学部が使用する実習室や演習室、大学院関係施設が配置され、グループワークやプレゼンテーションなどの多彩な学習に対応。中央に「光の庭」を設けることで、各部屋に光と風を取り込んでいます。各階には休息や交流の場として自由に利用できるラウンジが設けられ、ゆったり寛げるコミュニティスペースとなっています。

ハード・ソフト両面で、学生の“生きた学び”を支えるための仕掛けや工夫が随所に施されたE1棟。その根底に流れているのは、「これから”を生きる女性にとって常に理想的な学びの環境であり続けたい」というKMP21の想いです。



明るい陽が差し込む学生ラウンジ(3F)



プロジェクターやスクリーンなどのプレゼン用機器を完備したプレゼンルーム(3F)



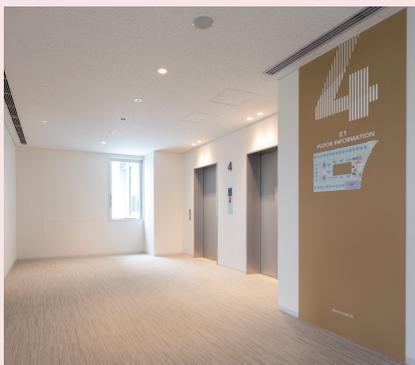
自然光を取り込む「光の庭」は学生の憩いの場(3F)



大型プリンターを備えたデザイン実習室(3F)



本格的な機器、設備を備えたメディアスタジオ(3F)



広々としたエレベーターホール(4F)



キャンパスを見渡せるガラス貼りの階段室